

権利擁護・虐待防止に関するレポート

氏名	竹谷 知比呂
----	--------

1. 平成30年度の目標（平成31年度より勤務している方は無記入）

利用者に暴力をふるったり、行動を抑制する行為はしません。利用者が興奮した状態であっても冷静に対応し、痛みを与えるような行為はしません。身体の身動きが取れない状況にしません。支援の工夫をし、身体拘束をしない。相手が嫌がる性的につながる行為はしません。常に行動や会話においても誤解も招かないように気を付けて振る舞いを意識していきます。ことば使いに気を付け、年下の場合でも人権を意識した言動をします。人権を尊重した支援を学び、実践していきます。利用者の状況を把握し、希望やお願いをされた時には迅速に行動していくように努めます。

2. 上記目標に関するふり返り（平成31年度より勤務している方は無記入）

行動を抑制したり、暴力等は行わずに対応できた。性的につながる行為もなく対応した。年下の場合でも言葉遣いを気を付ける事や、命令口調にならないように、会話の途中で振り返ったり敬語を使いながら意識して面談等ができていたと思う。人権やプライドを傷つけない口調や言葉を選ぶことを今後も意識していきたいと思う。迅速に行動する事は、心がけていたが、遅滞や連絡不足で迷惑をかける事があったので、気を付けていきたい。

3. 今年度取り組んでいきたいこと

面談や相談時に、プライドを傷つけない言葉を選び、お願いされたことは迅速に対応するように行動していく。利用者が興奮状態であっても、冷静に対応できるように、常に心掛けていきたい。

